

## 「第1回徳山ダム環境保全対策委員会」の議事概要

日 時：平成12年4月24日 15:00～17:50

場 所：岐阜グランパレホテル 4階 芙蓉の間

出席者：阿部委員、駒田委員、前田委員、松井委員、水野委員、中村委員、西條委員、  
佐藤委員、その他26名（氏名abc順）

### 1. 委員会の目的と構成

別紙に示す。

### 2. 委員長の選出

委員長に、佐藤正孝委員（名古屋女子大学教授）が選出された。

### 3. 委員会の公開

委員会の公開について審議され、次の公開方法によるものとした。

委員会は、報道関係者に対して、公開を原則とする。ただし、委員会の決議による場合は、この限りではない。（委員会規約第5条）

なお、公開にあたっては、野生生物保護の観点から厳重に管理すべきデータがあること等から、報道関係者との間に「申し合わせ」を取り交わすことを前提とする。その内容については、事務局が各委員と調整し、岐阜県政記者クラブとの間で確認する。

### 4. 審議内容等

#### 1) 報告事項

事務局及び事業者より以下の事項に関して報告があり、その内容を審議した。

徳山ダム建設事業全体の概要と平成12年度の工事計画について。

今までの調査結果及び保全の方針について

4月までのワシタカ類の繁殖活動状況について。

#### 2) 保全対策の検討体制

委員会は保全対策の実施に関してはプロジェクトを設置して検討を進める。

緊急に対応すべきプロジェクトとして、「ワシタカプロジェクト」を発足し、その他のプロジェクトについては各委員より検討テーマを出していただき、その発足を検討していく。また、緊急に対応すべき生物種については、早急に委員に検討等に着手していただく。

ワシタカプロジェクト：阿部委員・中村委員

ワシタカ類の保全に係わる事項について

## 第 1 回 徳山ダム環境保全対策委員会

### 【委員会の目的】

岐阜県揖斐川上流域は多様な動植物が生育・生息する自然環境が形成されている。このため、徳山ダムの建設にあたっては、流域全体として調和のとれた自然環境を保全するため、「自然と共生したダムづくり」を理念としている。

本委員会は、この理念のもとに進めている徳山ダム建設事業の実施にあたって、これまでに集積された検討成果や新たな知見を踏まえ、総合的な観点から必要な指導・助言を行うものである。

### 【委員】

阿部 學	新潟大学教授
駒田 格知	名古屋女子大学教授
西條 好迪	岐阜大学助教授
佐藤 正孝	名古屋女子大学教授
中村 浩志	信州大学教授
前田 喜四雄	奈良教育大学教授
松井 正文	京都大学教授
水野 瑞夫	自然学総合研究所長

(氏名 abc 順)

### 【委員会の公開について】

委員会は、報道関係者に対して、公開を原則とする。ただし、委員会の決議による場合は、この限りではない。

なお、公開にあたっては、野生生物保護の観点から厳重に管理すべきデータがあること等から、「申し合わせ」を取り交わすことを前提とする。

「申し合わせ」の内容は、例えば以下のような内容が考えられる。

- ・ 入退りは決められた時刻に行く。緊急の場合を除き審議中の入退室はしない。
- ・ 撮影は頭撮りまでとする。
- ・ 会議中はマナーを守り、審議進行を妨げない。
- ・ 野生生物保護の観点等から、審議内容の一部を報道しないよう要請する場合あるいは一時退室を要請する場合がある。
- ・ 資料は非公開とするものがある。
- ・ 議論の過程での発言を結論と切り離して報道することはしない。
- ・ 委員発言の報道では個人名は差し控える。
- ・ ルールを守らない者には退室していただく場合がある。
- ・ その他

第 1 回 徳山ダム環境保全対策委員会出席者

【委 員】

阿部 學	新潟大学教授
駒田 格知	名古屋女子大学教授
前田 喜四雄	奈良教育大学教授
松井 正文	京都大学教授
水野 瑞夫	自然学総合研究所長
中村 浩志	信州大学教授
西條 好迪	岐阜大学助教授
佐藤 正孝	名古屋女子大学教授

(abc 順)

【水資源開発公団】

(本社)	松隈 宣明	環境室長
	大槻 光雄	環境室自然環境課長
	自閑 茂治	第一工務部調査役
(中部支社)	樋口 敦美	副支社長
	佐藤 久則	建設部次長
	大中 武易	建設部審議役
	小野寺 直	建設部審議役
	中尾 武史	
	武田 保朗	建設部第一設計課主査
(徳山ダム)	山口 温朗	所長
	柳川 晃	副所長
	小坪 洋巳	第一調査設計課長
	川地 悟	第二調査設計課長
	山下 祥弘	ダム工事課長
	天野 正義	第一道路工事課長
	中岡 宗治	第二道路工事課長
	大塚 明克	機械課長
	嶋田 啓一	環境課長
	結城 和宏	環境課係長

【(財)ダム水源地環境整備センター】

尾澤 卓思	研究第三部長
川地 利昭	研究第三部客員研究員
佐々原秀史	研究第三部主任研究員(他5名)

合計 34 名